

周囲に支えられ 悔いない「就活」

妹尾 唯さん

都合により
写真は掲載
いたしません

マーケティング学科、見
目洋子ゼミ、神奈川県桐
光学園高1味の素コミュ
ニケーションズ
可愛い付箋や筆記具は

〇しの癒やしやモチベー
ションになっている。一
卒論は女性をターゲット
にした文房具を取り上げ
ました。文房具が好き
で、卒論に備えて調べた
情報や知識を文房具メー
カの面接でアピールする
つもりでしたが、全て熱
意が空回りして頭は真っ
白。デパ地下での接客経
験を過信していました。
別の業界の企業から秋
に内定をもらったもの
の、これでいいのかと悩
んだ時、就職課の方に悔
いが残らないよう納得で
きるまで『就活』して
ました。文房具が好き
と励ましていただきまし
た。気を取り直し、働き
たいと思う会社に採用が
決まったのは12月です。
ゼミの仲間や先輩、家族
。長かったこの1年、
多くの人に支えてもらっ
たので私も誰かの力にな
りたい。人の役に立てる
社会人になります。

米留学で収穫 今も交流続く

岡崎 雅城さん

都合により
写真は掲載
いたしません

会計学科、黒川保美ゼ
ミ、東京都専修大学附属
高1日本ケミファ
「社会に出てから役立
つ学問を」と会計学科を
選びましたが、会計学か
ら社会と政治にも興味が
広がりました。
3年次で大学を休学し
1年間、米カリフォルニ
ア州に語学留学しまし
た。世界を自由に行き来
する友人に誘われてのこ
とです。幼いころ、一家
でニューヨークに数年い
て、両親も母も英語が話
せるのに、自分だけ忘れ
てしまい悔しかったこと
も留学の動機です。

ア州に語学留学しまし
た。世界を自由に行き来
する友人に誘われてのこ
とです。幼いころ、一家
でニューヨークに数年い
て、両親も母も英語が話
せるのに、自分だけ忘れ
てしまい悔しかったこと
も留学の動機です。
語学修得は思ったより
難関で、銀行口座を開い
たり、アパートの契約を
するときなどたいへんで
した。日米の文化の違い
を肌で感じました。現地
に留学中のビジネススマ
ンや社会人とお付き合いが
でき、今でも交流を持て
るのが大きな収穫です。

就活で大苦戦 悩んだ末朗報

北沢 綾乃さん

都合により
写真は掲載
いたしません

英語英米文学科、道家英
穂ゼミ、東京都若葉総合
高1富士古河E&C
念願の留学を果たした
のは3年次の前期。米国

オレゴン大学に5カ月間
通い、普段着の日常会話
を学びました。ホームス
テイも楽しく大学生活は
最高潮に。弾む気持ちは
旅行業界の就活に全滅し
て一転しました。準備不
足のまま焦ってがむしゃ
らに受け、落ちる。最悪
の精神状態に追い詰めら
れました。
独りでのため込んでいて
はだめですね。留学仲間
と話し「マッチしていな

頼りがいある 銀行員目指す

間野 佑樹さん

都合により
写真は掲載
いたしません

ネットワーキング情報学科、
小林隆プロジェクト、新
潟県小千谷高1北越銀行
実家は新潟県小千谷市
の中でも山あいにあり、
2004年の新潟県中越

古代に魅せられて入っ
たゼミ活動も思い出で
す。卒論では矢野先生や
院生の先輩方に親身にな
って指導していただき、
なんとか完成させまし
た。
卒業後は大学院に進学
して、みっちり学び直し
です。教師になって生徒
にバスケを教えたい、そ
れが高校時代からの夢。
実現に向かって踏み出し
ます。

新聞・メディア 多方面から学ぶ

吉村 英治郎さん

都合により
写真は掲載
いたしません

人文・ジャーナリズム学
科、藤森研ゼミ、福島県
いわき光洋高1アフロ
父と兄も専大卒の専大
一家。いわきの実家で
は、生田かいわいの話題
で盛り上がりがあります。
2011年春、東北を
襲った東日本大震災・福
島原発事故で、兄と僕が
住む東京の住まいに、祖
父母、両親、弟が避難して

きました。一家7人が2
週間ほど肩寄せ合って過
ごしたのを思い出します。
その震災報道の調査・
分析作業をゼミで行いま
した。成果と報告書が全
国紙で紹介された時は感
激しました。
ほかに石巻の仮設住宅
での「ふれあいポランテ
ィア」活動、沖繩の基地
や新聞社を訪ねる沖繩ジ
ャーナリズムの探求、群
馬県でハンセン病元患者
の調査……。新聞・メデ
ィアを多方面から学び、
こんな得がたい体験がで
きたのは、ジャーナリス
ムの最前線で活躍した藤
森教授と、意識の高い仲
間たちのおかげです。

胸熱くなった 「ありがとう」

内山 萌子さん

都合により
写真は掲載
いたしません

歴史学科、矢野建一ゼ
ミ、バスケットボール部
(女子)、新潟県糸魚川
高1上越教育大学大学院
女子バスケットボール
部のマネジャー・主務と
いう脇役に徹した4
年間でした。最後の試合

プログラムミング
する力花開いた
宮内 桜子さん
川島記念学術賞総代・3
面参照
好きなことに取り組ん
で川島賞の学術賞総代に
選ばれ、不思議な気持ち
です。
ゲームが好きでコンテ
ンツデザイナーを学ぶつも

頑張ることで パワーアップ

小川 紗由莉さん

都合により
写真は掲載
いたしません

ネットワーク情報学科、
飯塚佳代プロジェクト、
神奈川県伊志田高1中央
コンピュータシステム
飯塚先生のプロジェクト
でスマートフォン用ア
プリを開発したことや、

気なものでした。
特別大変だとも思わず
に暮らせたのは、親や周
りの人が支えてくれたお
かげ。今ならわかりま
す。東京の企業から内定
をもらったのに違和感を
覚えた時に「今度は自分
が地元力になりたいん
だ」という気持ちを確認
しました。
就職先の銀行は、隣り
まの長岡市が本店で、
小千谷支店もあります。
「ありがとう」と言って
もらえる銀行員になりた
いし、いざという時に頼
りになる存在になりたい
です。

卒論で父娘の 関わり方考察

城山 愛さん

都合により
写真は掲載
いたしません

社会学科、塚越健司ゼ
ミ、東京都専修大学附属
高1日本中央競馬会
自分なりに頑張ったの
は卒論と就活です。卒論
は女子学生へのアンケート
トを基に「父娘関係が良
好か否かは両親の夫婦仲
に影響される」という仮
説を検証しました。私は
父と何でも話せますが、
父親を敬遠する子もい
る。その違いは何からく
るのか、自分のテーマを
考察するのは楽しかった
です。

メディアプロデュース
プログラムの応用演習で制
作したCMが多摩区長賞
をいただいたことなどが
思い出されます。さまざま
な取り組みを通じて、
「頑張ることが自分の力
につながる」と気付くこ
とができ、頑張ることが
嫌ではなくなりました。
プロジェクトでは、仲
間と協力して困難を乗り
越えていくことで、チー
ムで活動することの楽し
さも体験しました。みん
など一緒に活動できて良
かったと思います。

社会学で学んだ 「互恵」の精神

浜岡 百合子さん

都合により
写真は掲載
いたしません

社会学科、嶋根克己ゼ
ミ、専大スポーツ編集
部、神奈川県新城高1芸
文社
中学時代の「学級新聞」
づくりの楽しさから取材
ぶる楽しさも覚えてとい
う。編集に興味を持ち、専
大スポーツ編集部へ。パ
レーボール、陸上、剣道の
話題を追い、取材の面白
さを覚えて、編集も務
めました。話をどうやっ
て聞きたすか、最初は戸
惑いの連続でしたが、読
者が知りたいことを聞く
姿勢と、結果だけでなく
背景や相手の人間性も浮
かび上がらせるような原
稿を心掛けた。社会学も
聞き取りが基

を「謝辞」で表すことが
でき光栄に思います。
4年前、プログラムや
講義を利用して毎年何か
に挑戦しようという目標を立
てました。中国短期留
学、課題解決型と多摩区
役所でのインターンシッ
プ、ゼミの活動の一環で
携わった地域活性化活
動、石巻専修大学との交
流会、東北視察と多くの
機会をいただき、全力で
頑張りました。

「現場が大切」 研究姿勢学ぶ

楊 陽さん

都合により
写真は掲載
いたしません

法学部、山本健一朗さん
3面参照
「法律の教科書は暗記
してはだめ。ストーリー
として味わいなさい」。
法科大学院に入学し、勉
強についていくのが大変
で自信が持てなかったと
き、弁護士でもある村
寛道教授からアドバイス
されました。

本学の学問。追ってきたテ
ーマは「電車内マナーか
ら考える『他者』との関
係」。この論文で、「懸賞
論文・文芸作品コンク
ル」の柘植光彦学術賞、
そして優秀卒論の一つに
選ばれるというご褒美を
いただいた。嶋根先
生のゼミで成果をあげる
ことができました。

人を取材する 面白さ知った

山内 夏穂さん

都合により
写真は掲載
いたしません

社会学科、嶋根克己ゼ
ミ、専大スポーツ編集
部、神奈川県新城高1芸
文社
中学時代の「学級新聞」
づくりの楽しさから取材
ぶる楽しさも覚えてとい
う。編集に興味を持ち、専
大スポーツ編集部へ。パ
レーボール、陸上、剣道の
話題を追い、取材の面白
さを覚えて、編集も務
めました。話をどうやっ
て聞きたすか、最初は戸
惑いの連続でしたが、読
者が知りたいことを聞く
姿勢と、結果だけでなく
背景や相手の人間性も浮
かび上がらせるような原
稿を心掛けた。社会学も
聞き取りが基

計画的に物事を進める
性格ですが、事前計画な
しの気ままな旅もいいも
のです。友人10人での
サイパン卒業旅行を満喫
しました。
博士後期課程修了生総代
・3面参照
中国・吉林省から交換
留学生として来日したの
が2006年。長春工業
大学と新潟経営大学を卒
業、専大での研究生活は
6年になります。一貫し
て日本人の温かさに支え
られました。ことに指導
いただいた田口冬樹先生
の研究への真摯な姿勢、
教育に対する一途な思い
には心打たれることが何
度もありました。
研究とは本を読むこと
だけではない、現場を踏
んで足で稼ぐ姿勢が大事
だということ。同時に学
ぶ楽しさも覚えてとい
う。教える胸に刻みまし
た。4月からは専大経営学部
初の助教に就くことにな
りました。マーケティング
と流通、ビジネス研究
を教えます。もちろん目
標は田口先生。

障がい持つ母に 恩返しをしたい

山本 健一朗さん

都合により
写真は掲載
いたしません

社会学科、嶋根克己ゼ
ミ、専大スポーツ編集
部、神奈川県新城高1芸
文社
中学時代の「学級新聞」
づくりの楽しさから取材
ぶる楽しさも覚えてとい
う。編集に興味を持ち、専
大スポーツ編集部へ。パ
レーボール、陸上、剣道の
話題を追い、取材の面白
さを覚えて、編集も務
めました。話をどうやっ
て聞きたすか、最初は戸
惑いの連続でしたが、読
者が知りたいことを聞く
姿勢と、結果だけでなく
背景や相手の人間性も浮
かび上がらせるような原
稿を心掛けた。社会学も
聞き取りが基

障がいを持つ母に
恩返しをしたい
山本 健一朗さん
3面参照
「法律の教科書は暗記
してはだめ。ストーリー
として味わいなさい」。
法科大学院に入学し、勉
強についていくのが大変
で自信が持てなかったと
き、弁護士でもある村
寛道教授からアドバイス
されました。

学修意欲の高い仲間た
ち、そして知識豊富な院
生に対し極めて熱心な先
生方に囲まれました。人
と人の距離が近いとい
うことは、何物にも代え
難い環境でした。もちろ
ん将来は、社会福祉に強
い弁護士になりたい。そ
れは、二部法学部を経て
法科大学院進学を志すこ
とで決めた。聴覚障がいを持つ
母への恩返しでもありま
す。